

環境調査事業”カワラノギク育成相模川神川橋下”での活動報告(9)

猛暑日の中で水やりとシナダレの二期作か？

2011年7月30日(土)～8月10日(水) 作業:4名 記:中門

- 1)8月になって猛暑が戻ってきました。上流からの移植苗の根付きには水やりが最も大事な時です。
- 2)シナダレスズメガヤは一年に2回穂をつけて種をまき散らす植物のようです。6月に枯れた根元から新たな芽が出て再び穂をつけ始めています。

【移植したカワラノギクの1週間後】
・恵みの雨の影響もあって約半数が根付こうと頑張っています。189本が残っていました。



【移植したカワラノギクの2.5週間後】
・晴天続き、猛暑日も戻って来たが水やりのお蔭で少しずつ根付いてきたようです。生き残っている移植苗の数は約150本位になってきました。



【神川橋下圃場で芽吹いた幼苗】
・7/30現在の苗です。少し密集したところもありますが、予想以上に多くの幼苗が育っています。



【更に10日後の幼苗】
・もう幼苗とは呼べないくらいに成長して多くの枝をつけて上流の苗に近づいたものもあります。



【7月初旬に野焼けした跡の新芽】
・野焼けした後、2週間くらいで新芽が出て1週間で青々と成長しています。



【芽が出て3.5週位で穂が出た】
・成長が早いですね。あっという間に成長して穂をつけてしまいました。今の内に刈り取ってしまうのが良いですが・・・



【一度枯れたところから新芽が！】
・5月下旬に穂をつけて7月初旬に一度枯れたシナダレが新たに芽吹いてきました。稲の2期作は喜ばれますが、シナダレの強さには困ったものです。



【更に1週間後には穂がついた】
・愈々、2度目の穂をつけたものが現れました。9月の初めには河原全体のシナダレが今年2度目の種をまき散らしそうです。困った、困った。

